

“そっと” 寄り添い、共に歩いていく ～ 国境を超えて ～

筆者は、2026年2月21日(土) 東京都板橋区常盤台(東武東上線『ときわ台』)に向かい、米澤雅子氏の企画による『第72回がん哲学外来メディカルカフェ IN 常盤台』(常盤台バプテスト教会に於いて)での講演会に赴く(画像)。

【ここをそっと、ひらく時間。がんの患者さん、支えておられるご家族、大切な方を送られたご遺族の方。また、がん以外の病気で不安な日々を過ごされている方や、関心のある方など、どなたでもご参加いただけます。ここは、互いの思いを語り合い、共に歩いていくための場所です。】と心温まる紹介がなされている。大いに感動した。

また、【2月21日のがんカフェは、樋野興夫先生をお招きして『良き師、良き友、良き読書との出会い ～ 役割意識と使命感の自覚 ～』】と記載されている。ただただ感服する。牧師の友納靖史先生には、『写真日めくり 人生を変える言葉の処方箋 英訳付き』(いのちのことば社 2021年10月1日発行)(画像)で、大変お世話になったものである。

【『全力を尽くして、心の中でそっと心配する Do your best, then keep any worries quietly in your heart.』。既刊『日めくり 人生を変える言葉の処方箋』に励まされた方々の声をお聞きし、英訳版があると海外在住邦人や外国人の家族などにもお届けできるのに…とっていました。このたび、美しい自然の風景が加えられ、目にも優しくしみる英訳付き『写真日めくり』の出版は、樋野先生の言葉を使わせて頂くなら、『世界的偉業です』。―― “そっと” 寄り添い、その先にある確かな御言葉の慰めを求める心と呼び覚ます一冊とされることでしょう。】と記述されている。友納靖史先生には、ただただ感謝である。まさに、国境を超えて、『言葉の処方箋』である。

想えば、友納靖史先生との大きな出会いは、先生が長崎時代の2012年に、長崎での講演会で司会をして頂いた時である(画像)。友納靖史先生は、2013年には『偉大なるお節介症候群認定証』(画像)、2020年には『チャウチャウ症候群認定証』(画像)を授与されている。『樋野動物園』(画像)では、『チャウチャウ犬』で入所されている。まさに、『冗談を実現する胆力で、ニューモアに溢れ、心優しく、俯瞰的な大局観ある人物』である。

チャウチャウ症候群 認定証

友納 靖史 殿

貴殿は以下の診断基準を満たしたため、ここに認定いたします。

- 一、チャウチャウ犬の風貌
- 二、尺取虫運動
- 三、沈黙で寄り添える

2020年8月1日

榎野KANZO倶楽部

新渡戸稲造学校



偉大なるお節介症候群 認定証

友納 靖史 殿

貴殿は以下の診断基準を満たしたため、ここに認定いたします。

- 一、暇げな風貌
- 二、偉大なるお節介
- 三、速効性と英断

平成25年6月8日

榎野KANZO倶楽部

新渡戸稲造学校



「榎野動物園」1周年記念誌
個性と多様性

「榎野動物園」出版局